

～ All for one, One for all. ～

光 の 家

THE LIGHT HOUSE FOR THE BLIND

視覚障害者総合福祉施設

東京光の家会報

— 197 号 —

2018 年 8 月 1 日発行

神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。神が御子を世につかわされたのは、世をさばくためではなく、御子によって、この世が救われるためである。

ヨハネによる福音書

第三章 一六～一七節



2018 光の家夏祭りでの利用者達

会 報 五 言

一、正しい者の誠実はその人を導き、不信実な者のよこしまはその人を滅ぼす。

二、悪しき者の堅固なやぐらは崩壊する。正しい人の根は堅く立つ。

三、なまけ者の心は、願い求めても、何も得ない。しかし勤め働く者の心は豊かに満たされる。

四、聖書では、「平和をつくり出す人は幸いです」という。ピースピーカーは幸いですと言わない。まさに平和に生きる人こそ幸いである。

五、笑われても蔑まれても愚直と言われてもいい。それでも、やっぱり正直に、真面目に生きるのが良い。

旭が丘は障がい者と 共に生きる地域です

日野市旭が丘上の原自治会 会長

田村 功



る場所づくりで大いに貢献して
いただいております。

この冊子の四月二十五日号で旭が丘地区センターが新たにオープンし、その管理を「光の家」が担うことの記事がございました。旭が丘中央公園に併設されたこの地区センターは私たちが地域の活動の中心地であり、この「光の家」が管理をすることにより地区センターの利用の利便性だけでなく、活動拠点としての可能性を大幅に向上するものだと思います。また、独自に空き室状況に応じてカフェルームの設置は気軽に立ち寄れ

「光の家」がこの旭が丘に引越してきたのは昭和三十三年と伺っており、旭が丘の名称が生まれるのは区画整理事業によりインフラ整備が完了した昭和四八年ですので、かなり以前にこちらに根を下ろしたことになると思います。私どもの自治会設立より古いことになります。連携としては自治会の婦人会が長いことバザー等で協力させていただいておりますが、私にとつては光バンドの方が身近に感じます。チャリティーコンサートはもとより、たき火祭や旭が丘小学校でのコンサート等、拝聴の機会が多々あり「光の家」「光バンド」というイメージでした。ところが、平成二五年に旧東芝クラブの後を受け、キッチン&

カフェ「カナン」の開設からが私たちにとってより身近な存在となりました。気軽に食事や喫茶をできるところが無くなり大いに不便を感じていた矢先であり、リーズナブルな食事と飲み物やケーキはともありがたい場所となりました。そこに加え、今回はカナンの出張所のような形で旭が丘中央公園内にお茶を飲める場所の提供は、例えば立川の昭和記念公園のような大規模公園ならともかく、地元だけに愛されるローカル公園の未来像になると思える画期的なものと言えます。

公園の質や私たちの利便性が上がるだけでなく、これらの取り組みが障がい者の就労支援であることが特筆する点だと思えます。「光の家」が目指す地域と共生していくということは、地域とどれだけ触れ合うことができるかではないでしょうか。カナンに加え、今回の地区センターと公園管理はより身近に感じられる存在となり、それ

くりとなるでしょう。更に、この旭が丘は「光の家」だけでなく障がい者の就労支援施設として「社会福祉法人おおぞら・つばさ」「社会福祉法人夢ふうせん」があり、また子供の発達支援として「エール」があります。普段から普通に障がい者との接点が生まれやすい環境かと思えます。

一方、私たちの自治会は夏祭り・盆踊りを行っており、中央公園のお祭りとして親しまれております。この祭りに前述した団体の参加を始め、障がい者用に招待席テントを設けてお祭りを楽しんでもらうことをしております。昨年は、石渡常務理事自らみこしを担ぎ汗を流していただきました。いろいろな場面で接することは、心のバリアフリーであり互いに認め合う意識の醸成と人権尊重につながるものと考えます。障がい者と健常者が共に暮らすまち旭が丘があり、もっと住みよいまちづくりにより互いに協力し合い進みたいと思います。

2018 光の家 夏祭り

七月二日(土)
会場：旭が丘東公園



今年も旭が丘ふれあい夏祭りが盛大に開催されました。

地域にも定着して大勢の方に来て頂きました。毎年恒例のゲームコーナーやおさつスティック、タピオカミルクティー等、模擬店についても大盛況でした。

また、豊田囃子、倭成太鼓、盆踊り、カラオケと企画も充実していてあつという間の時間でした。最後は光バンドの演奏と夏の夜空を照らす打ち上げ花火で締めくくりました。

この夏は、たいへんに暑い日が



司会進行をする利用者と職員



2018 光の家夏祭りの様子

続き、準備や祭の実施にはとても過酷な環境でしたが、そんな中でも盛大な夏祭りが出来たのは多くのボランティアや地域の協力や理解があつてこそです。今後も楽しい企画を盛り込み盛大な夏祭りを地域と共に作り上げて行きたいと思っています。

アイマスクチャレンジ

五月一九日(土)
会場：旭が丘地区センター

点字教室

六月三〇日(土)

地域貢献活動室では今年度、新しいイベントとして、旭が丘中央公園地区センターで「アイマスクチャレンジ」を開催しました。アイマスをして視覚がなくても楽しめるというコンセプトで、見えない状態で音の出るボールを使って「ブラインドサッカー」の体験をしてみたり、公園ですべり台やブランコに乗ってみたりして、見えない中でこそ他の感覚を使つてできることを体感していただきました。参加者からは「見えないけど楽しくできた!」という感



公園内のジャングルジムでアイマス体験

想があつて、初めての企画でしたが楽しんでいただけたようでした。

また、翌月には「点字教室」を、こちらも同様の地区センターにて開催しました。定員が二〇名のところでしたが、応募者多数で二三名の参加となり皆さん熱心に取組んでいました。近隣の小学生親子が参加されることが多く、点字に対する質問もさることながら、視覚障害者への対応方法についての質問もあり、視覚障害の方への関心の深さを感じました。



旭が丘地区センター内での点字教室



新 生 園

新幹線で行く福島・会津の旅

期 間…六月二日(火)～二四日(木)
行き先…福島県会津若松方面

今年度の二泊旅行は、さまざまな乗り物が満喫できる旅でした。旅行初日は東京駅から東北

新幹線に乗り込み、一路、福島県へと向かいました。例年のバス

移動とは違い、新幹線での移動ということで、走行音や発車

メロディーに利用者の皆さん大はしゃぎでした。福島・新白河

駅からは、バスで大内宿を目指しました。茅葺屋根の昔ながら

のお土産物屋や蕎麦屋が立ち並び、人気の観光地です。名物の

「ねぎそば」を、お箸の代わりにねぎ一本を使い、堪能して

できました。

二日目は、福島県を代表する湖、猪苗代

湖を遊覧船にて周遊し、新幹線やバスとは違った

乗り心地を楽しみました。昼食にはこれま



ねぎのお箸で食べてます！

た名物の喜多方ラーメンを食し、午後にはこの時期、旬のさくらんぼ狩りを楽しみました。

三日目は、福島県とはお別れし、特急電車リバティに乗り、東京方面を目指しました。約二

時間、列車に揺られながら旅の思い出を振り返ることができま

した。栃木県、宇都宮で途中下車し、昼食に餃子をいただき、

帰路につきました。

さまざまな乗り物に触れた今回の旅行、天候にも恵まれ、貴重な体験ができました。

さまざまな乗り物に触れた今回の旅行、天候にも恵まれ、貴重な体験ができました。

栄 光 園

米どころと名湯を訪れる旅(新潟)

期 間…一班六月二日(木)～三日(土)
二班七月五日(木)～七日(土)
行き先…新潟県

今回の二泊旅行は、米どころ

新潟で食事や買い物を思う存分楽しむことができました。行き

は新幹線、帰りはバスを使った旅でした。

一日目は、新潟県の観光と土産のプレゼンテーション施設で

ある新潟ふるさと村へ行き、買い物を楽しみました。

宿泊所では、美味しい夕食を食べながら毎年恒例のクイズやカラ

ラオケ大会で盛り上がりました。食後は月岡温泉に入り、名湯を

堪能することができました。

二日目は、ロープウェイに乗っ

て弥彦山を登り、山頂の清々しい空気を感じることができまし

た。その後は、新潟せんべい王国で、ばかうけの味付け体験を

楽しみました。ばかうけの入ったカップに、自分の選んだ味のパウダーを入れてシャカシャカ振る



ロープウェイで弥彦山頂上に着いたぞ～

神愛園

一泊旅行（秩父の旅）

期間…六月七、八日（木、金）
行き先…埼玉県秩父、長瀬方面

今年度の神愛園一泊旅行は、埼玉県の秩父・長瀬への旅でした。今回は利用者、職員合わせて二十四名での旅となりました。出発の当日、梅雨入りしたばかりで天候が心配されましたが、二日間とも雨も降らず良い天気恵まれました。

初日は、所沢よりレッドアロー号に乗り横瀬までの一時間弱電車の旅を楽しみました。到着後、バスで五分ほどのところにある小松川レジャー農園でうどん作り体験、作ったうどんでの昼食、餅つき体験+イチゴ狩り+イチゴ大福作り、また、しいたけ狩り、ハンモックで休憩等楽しみました。宿泊は秩父農園ホテルでゆつくりと温泉に入りおいしい夕食



餅つき後のイチゴ大福が楽しみ♪

二日目はホテルで秩父夜祭太鼓の体験を行いました。演奏を聴き、実際に太鼓を叩きと大変楽しんでいました。昼食は長瀬で秩父名物わらじかつを食べ、岩畳商店街で天然氷のカキ氷を食べて二日目も食べつくしの旅行でした。

八王子にあるコニカミノルタサイエンスドームは平成二九年七月にリニューアルされ、プラネタリウムや参加体験型科学展示室、二階には宇宙空間の体験などを、見て触って遊びながら科学を学べる場所でした。

サイエンスドームの中では、大きなロケット空間の中でタッチパネルを使いながら隕石を落とすゲームで遊び、万華鏡の中をのぞいて楽しんだり、ミラクルボールに手をかざして光を集めたりと様々な遊びが体験でき、みんな興味津々。身体を使いながら遊んだ後はゆったりとプラネタリウムで普段都会の空では見られないたくさんの星を見て癒される人、昔話を取り入れた星の話などを解説してくれるお姉さんと一緒に学んだ人など各々楽しみました。



宇宙飛行士になった気分♪

就労ホーム

「遊びながら学ぶ体験！」 日帰り旅行

期間…六月二日（木）
行き先…コニカミノルタサイエンスドーム

お昼ごはんは昨年オープンした八王子エリア最大のショッピングモール「イーアス高尾」。ちょうど一周年記念フェア中でした。ステーキやオムライスなどおいしい食べ物を楽しんだ後は面白い物を楽しんだり、喫茶を楽しんだり。よい気分転換となり、また仕事を頑張れそうです。

平成三〇年度 人事院介護等実地体験研修

研修期間：五月二日(月)～五月二五日(金)



東京光の家では、人事院が実施する「介護等実地体験研修」の受け入れを行いました。

今回は法務省、外務省、財務省、農林水産省から一名ずつ、計四名が光の家を訪れ、栄光園の外出行事のハイキングや、就

労ホームの活動、新生園の作業訓練等に参加し、利用者の皆さんとの様々な関わりを通して、体験研修をしていただきました。



左前から農林水産省、財務省、法務省、外務省の人事院研修生 4 名



陶芸の利用者と談笑する人事院研修生

限られた期間で、さまざまな環境での慣れない研修でしたが、とても積極的に利用者の皆さんに声をかけていただき、良い研修を行うことができたのではないかと思います。

短い期間ではありましたが、光の家で学ばれたことを今後の業務に少しでもお役立ていただき、活躍されることをお祈りしております。

ミルキーウェイコーポレーション 光バンド演奏会

五月(六日)水 渋谷区文化総合センター
大和田さくらホール



光バンド演奏会 (渋谷大和田さくらホール)

今回の演奏会の会場は、渋谷という事で、バンドメンバーは何となく都会のイメージがあり、行く前から楽しみにしていました。当日は、光の家からも仲間たちが応援に駆けつけ、会場と一緒に歌うことができました。

このような会場で演奏させていただけるのは、日頃より支援してくださる方々のお陰であり、改めて皆様に感謝申し上げます。

第8回

光の家オープンハウス ～見えない人の暮らし～

光の家に来てみませんか

ミニ点字教室や、アイマスクをした卓球など、楽しく体験をしていただける企画を用意しています。視覚障害の方の感覚や気持ち、暮らし方などを少し理解することができるのではないのでしょうか。

当日、お好きな時間にご来園ください。



ミニ点字教室

【日時】

平成30年9月8日(土) 10時～16時
※入退場自由

【会場】

東京光の家 地域交流センター1階

【お問い合わせ】

東京光の家 地域貢献活動室
TEL：042-581-2340

第 18 回 東京都障害者スポーツ大会 メダル数

	参加者数	金	銀	銅	計
光の家神愛園	6	2	2	1	5
光の家栄光園	28	11	11	14	36
光の家新生園	64	15	13	16	44
光の家就労ホーム	20	5	3	5	13
合 計	118	33	29	36	98

今年度も晴天に恵まれ「東京都障害者スポーツ大会」に、光の家から多くの利用者が参加しました。

今大会より身体部門はアイマスク着用が必須となり、今までと少し感覚が違いましたが、参加者全員が各競技に一生懸命取り組み、多くのメダルを獲得することができました。

第一九回 東京都障害者スポーツ大会

サウンドテーパールテニス
陸上競技の部（知的障害）
陸上競技の部（身体障害）

五月二〇日（日）
五月二七日（日）
六月二日（土）



スタートダッシュ！！



幅跳びジャンプ！！



金メダル取りました♪



ソフトボール投げでヤァー！！

寄付者名簿

平成三〇年六月二五日～七月二〇日

社会福祉法人 東京都共同募金会

会長 三村 明夫様

地域配分（B配分）

点字出版用PC購入資金 二〇万円

洗濯乾燥機購入資金 一四万円

紙揃え機購入資金 一五万円

柳沢 朋子様 布 五・六枚

鈴木 英征様 ハガキ 五六枚

株式会社リード・リアルエステイト様 米 一五kg

箱 ティッシュ 二ロール×二〇 五箱×二〇

山本 みどり様 プチトマト 三・六kg

船橋 敬様 枝豆 八kg、人参 二kg

じゃがいも 二〇五kg、キャベツ 二・五kg

小松 菜 五kg、サニーレタス 一kg

滝沢 ミヨシ様 雑巾 六・六枚

滝沢 幸雄様 桃 四〇個

土屋 正和様 さくらんぼ 二一kg

かぼちゃ 四kg

梅田 功様 メロン 九kg

綾木 潔様 スイカ 八〇kg

河村 正様 米 五四kg

平成二九年度 森村豊明会助成事業

カラープロダクションプリンター 三〇〇万円

※紙面の写真は、すべてご本人の許可を得て掲載させて頂きました。

光バンドチャリティーコンサート 愛のサウンドフェスティバル



◎このコンサートの売上金の一部を福祉団体に寄付致します。

- 日時：平成三〇年九月一五日(土)
開場一四時〇〇分・開演一五時〇〇分
- 会場：ひの煉瓦ホール(日野市民会館)
東京都日野市神明二二二―
- 交通：J R中央線日野駅より徒歩一五分
バス：J R中央線日野駅から「高幡不動駅」行き、
または京王線高幡不動駅から「日野駅」行きに乗り、
「日野市役所」バス停下車
- 福祉協力券：一枚二、〇〇〇円
- 司会：高田 敏江(女優)
- お問い合わせ先：社会福祉法人 東京光の家
電話 〇四二(五八二)三三四〇

第41回 東京光の家 チャリティー バザーに 物品提供を

東京光の家のチャリティーバザーに多くの皆様のご協力をお願いいたします。



★期日：一〇月八日(月)
体育の日一〇時より

★会場：旭が丘東公園
(東京光の家前)

★提供品についての希望
日用品・おもちゃ・文具・雑
貨品・食器・食品・衣料品新
品同様のもの・古本・CD・
DVD等

★お断りしているもの
家具・中古の電気製品・布団・
雛人形・五月人形・ゴルフセッ
ト・スキー等

★提供品受付期間
九月末頃まで

※ご連絡頂ければ回収にお伺い
致します(多摩地区のみ)。

※尚、当日にお手伝いをしてい
ただけるボランティアの方達
を募集しています。

あ と が き

八月に入り、日差しもひととき
強く照りつけるようござい
ます。

今回の光の家会報一九七号で
は地元の旭が丘上の原自治会の
田村自治会長にご寄稿をお願い
いたしました。

田村自治会長からは旭が丘は
「障がい者と共に生きる地域で
す」という題を頂きました。

旭が丘という地域は普段か
ら光の家のレストラン「カナン」
や「光バンド」そして今年の四
月から運営している「旭が丘地
区センター」を通じて障がい者
と触れ合う環境があり、それが
心のバリアフリーに繋がってお
互いに認め合うことで障がい者
と健常者が共に暮らす共生社会
が実現できているというとても
有難い言葉を頂戴しました。

今後より住み良い地域作り
にご協力できればと思ってお
ります。

(常務理事 石渡 健太郎)

発
行 〒一九一〇〇六五
東京都日野市旭が丘一七七一七
社会福祉法人 東京光の家
電 話 〇四二(五八二)三三四〇
FAX 〇四二(五八二)九五六八